

谷口雅春先生著
新編『生命の實相』
全65巻発刊
成就の年!



第11回全国大会

人生に家庭に祖国に『生命の實相』の真理を
— 混迷する現代を浄め、大調和の世界へ —

日時 令和6年 **4月21日(日)**
10時～16時

会場 明治神宮 神宮会館



ゲスト講師

せき へい 氏
(評論家)



1962年、中国・四川省生まれ。北京大学哲学部卒。四川大学哲学部講師を経て、1988年に来日。神戸大学大学院文化科学研究科博士課程修了。2002年以来、評論活動に入る。2007年、日本国籍を取得。『なぜ中国から離れると日本はうまくいくのか』(PHP新書)で第23回山本七平賞を受賞。『石平の眼 日本の風景と美』(WAC)、『論語の「愛」に目覚めた日本人 儒教を「権力」の道具にした中国人』(PHP文庫)など著書多数。

テキスト 新編『生命の實相』最新刊
奉納金 3,000円以上随意(弁当代別800円)
※中学生以下奉納金不要(弁当代は実費)
※親子室もあります。お子様とご一緒にご参加下さい。
(お申込は裏面をご覧ください)

参加者のよろこびの声

◎谷口雅春先生がここに生きておられる

正面玄関で多くの方々に「ありがとうございます」といって迎えていただくほど、気持ちの良いことはありません。大会では、前回以上の盛り上がりを見せていたと感じました。谷口雅春先生が昇天されて何十年と経ちますが、谷口雅春先生がここに生きておられるとひしひし感じました。参加者の雰囲気にも感動で、ハラハラと涙が出てきました。(東京・男性)

◎光明生活を実践していきたい

安東巖講師のお話に感涙いたしました。「自分の心が人生をつくる」「問題は、生き方を変えるメッセージ過去の業が消えていくすがたの栄光のあらわれんがため」というお話をうかがい、日々の感謝を忘れず、笑顔で明るく美しい言葉をつかって、光明生活を送っていきたくと思いました。(長野・女性)

◎皇室をお守りする意義を実感

松浦光修講師の講演で、天皇陛下がいかに尊いか、どのようにして日本が治められてきたのか、皇室を守るために今の私たちに何ができるかを、これ以上ないほど明快に説明してくださり、皇室をお守りする意義を実感しました。もっと多くの人に知ってほしいと思い、今できることをしたいと思いました。(東京・男子学生)

◎永遠不滅の生命を生き切りたい

全国大会は、会場に溢れる慈愛の空気が清らかで、真理の体験発表も、ブジラル訪日団の報告も素晴らしかったです。私も還暦を目前に、「自分でつくってきた幸福人生」を報恩感謝の思いで振り返りました。そして、谷口雅春先生の御教えとともに、この先もいのち輝く光明生活を実践して、人間永遠不滅の生命を生き切りたいと思いました。(福岡・女性)

◎谷口雅春先生のお言葉に感動で打ち震える

谷口雅春先生の「永遠不滅の生命」のお言葉に、感動で打ち震えるのを禁じ得ませんでした。報恩感謝の念を深くし、御教えの宣布に励む思いを新たにしました。(千葉・男性)

会場「明治神宮会館」へのアクセス

電車でお越しの場合
JR山手線「原宿」駅“西口”
または東京メトロ千代田線
「明治神宮前」駅“2番出口”

車でお越しの場合
北参道口からのみ境内に入れます。
首都高速4号新宿線「代々木IC」より約5分
※駐車場が混雑することが予想されます。なるべく公共交通機関のご利用をお願い致します。

会場までの送迎について
原宿駅の改装にともない、表参道口からの送迎はできません。会場までの送迎が必要な場合は、「代々木駅」より各自でタクシーをご利用ください。

お申し込みは FAX・郵送・ネットで

FAX・郵送の方は・・・下記に必要事項をご記入いただきお申し込み下さい。

ネットの方は・・・当会のホームページの申込フォームから必要事項を入力しお申し込み下さい。

後日、受講券をお送りします。同封される振込用紙で奉納金をお振り込み下さい。

ホームページは「谷口雅春先生を学ぶ会」で検索いただくか、右記のQRコードをご利用下さい。

谷口雅春先生を学ぶ会 検索



FAX 03-5829-6411

参加希望の方のお名前をお書き下さい

お問い合わせ 宗教法人
「生長の家創始者 谷口雅春先生を学ぶ会」本部
〒103-0004
東京都中央区東日本橋 2-27-9 初音森ビル 10階
TEL : 03-5829-6410
MAIL : manabukai@wish.ocn.ne.jp

ふりがな		電話番号	
氏名	(歳)		
住所	〒		

※参加者が複数の場合は、下記に参加する方のお名前をお書き下さい。(中学生以下を含む)

なお、中学生以下の方は○印をつけて下さい。中学生以下の方の奉納金は不要です。

受講券 () 枚 中学生以下の券 () 枚 弁当券 () 枚

氏名	中学生以下	氏名	中学生以下	氏名	中学生以下
(歳)		(歳)		(歳)	
(歳)		(歳)		(歳)	
(歳)		(歳)		(歳)	